

日本の伝統曲芸 太神楽

# おかひらばやし

太神楽(だいかぐら)の起源は平安時代といわれ、江戸時代に入ってから熱田、伊勢信仰の神事として人々の人気を集めました。

国内でも珍しい、女性太神楽師・岡奈那(おか・なな)による、スリリングな曲芸の数々…各種イベント、アトラクションで活躍中です。



## ■ 岡奈那プロフィール

和歌山県出身

地元の高校(体操部に所属)卒業後、福祉関係の仕事に携わる。

人を喜ばせる事に目覚め、芸能の世界を目指し東西屋に飛び込む。柔軟な身体を活かして、太神楽・ジャグリングの修行に励む毎日!

現在、関西アクロバット界の重鎮、ラッキー幸治師匠に師事。

## ■ 太神楽のバリエーション(一例)



### 【傘の曲】

傘の上で鞠や升などを乗せ自在に廻す。

### 【五階茶碗の曲】

コップを長竿の上へ積上げ、顎の上に立てる。

### 【くわえ撥の曲】

口にくわえた撥の上でボールを操る。

## ■ 実施にあたって

- \* 実演時間は約25分程度。パーティの場合は1ステージ、イベントの場合は2ステージまで可能。
- \* 事前に実演場所を含め、イベントの主旨や内容をご連絡下さい。  
…実演場所が屋外の場合、実施できない曲芸もありますので、あらかじめご了承下さい。
- \* 音響機材・駐車スペース・控室 などの御用意をお願いします。